



『地方ステージ』実施報告書

1. 概要

- 趣旨 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探求プログラム」を通じて、地域の課題に対する実践活動を行った高校生が自らの取組みについて発表し、評価を受ける場を設けることで、体験活動を積極的に行った高校生を学校や社会が評価する機運を高める。また、中国ブロックの代表として全国ステージに進む者を決定する。
- 期日 令和5年12月24日（日）
- 審査員 国立江田島青少年交流の家所長 人見 達也
立命館大学文学部客員教授 本郷 真紹 氏
広島大学教育学部名誉教授 林 孝 氏
- 参加人数 個人の部：広島県立大柿高等学校 1名
団体の部：山口県立防府高等学校佐波分校 2名

2. 活動内容

時刻	内容
10:00～10:30	参加者受付（～10:20）、発表者プレゼンテーション動作確認
10:30～10:40	開会式
10:40～10:55	オリエンテーション
11:00～11:30	プレゼンテーション（個人部門⇒団体部門の順）
11:30～12:00	評価委員審査
12:00～12:45	休憩
12:45～13:00	評価委員講評
13:00～13:20	閉会式
13:20～	解散



3. 考察

- ・参加者は個人の部1名、団体の部1団体の参加で、出場校は全国ステージに進出することが決定した。
- ・発表内容を競うという趣旨より、全国ステージに向けて、より良い発表を行うためのアドバイスを行うという趣旨で審査を行った。
- ・審査員から、二つの発表を聞いて「自分たちが住んでいる地域について考え、そして課題を見つけ、どう解決していくか。」しっかりと自分の意見を発表することができていたとの講評をいただくことができた。
- ・出場者が多くなるよう、今後は中国地方の各施設がしっかりとアピールしていく必要がある。